

4. 平成29年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業（精神障害分野））
「重度かつ慢性の精神障害者に対する包括的支援に関する政策研究
－関連研究班の統括調整研究（H29-精神-一般-003）」
分担研究：チームによる地域ケア体制研究 報告書

分担研究者： 吉川 隆博（東海大学健康科学部看護学科 准教授）

1. 研究目的

平成29年度は、地域ケアの先駆的地域・施設より、重度かつ慢性の精神障害者の状態像特性（精神症状面、行動障害面、生活機能面、身体ケア面）に対応した、ケア内容と地域ケア体制に関する好事例収集と分析を行い、退院支援と地域ケアに関するケア内容およびケア体制を明らかにする。

2. 研究計画・方法

地域ケア体制に関するインタビュー調査

（1）インタビュー対象施設の選定

平成29年度は、研究代表者、研究分担者、研究協力者による機縁法を用いて、地域特性などを考慮しながら退院支援および地域ケアの先駆的地域・施設を選定した。

（2）インタビュー調査の実施方法および調査内容

- ①研究分担者・協力者会議を開催し、重度かつ慢性の精神障害者の地域ケア体制ガイドライン骨子案を検討し、それにもとづきインタビューガイドを作成した。
- ②医療機関で退院支援および地域ケアに携わる多職種職員と、地域ケアに携わる医療・福祉・介護・行政機関の職員を対象として、グループインタビュー形式で実施した。
- ③インタビュー調査の主な内容は、医療機関と地域機関の職員が共有可能なケース（「病状が重い人」、「行動障害が重い人」、「生活障害が重い人」、「身体合併症のある人」）を想定しながら、「入院長期化防止」に向けた取り組み（NLS）、「退院支援」に向けた取り組み（NLS、OLS）、「退院支援のプロセス」について（NLS、OLS）、地域における「ケア体制」について（NLS、OLS）インタビューを実施した。

（3）インタビュー調査結果の分析方法

精神症状面、行動障害面、生活障害面、身体合併症面などに対する有効な支援内容、②医療機関が有する資源と地域資源の特性との関連性に着目しつつ、重度かつ慢性の精神障害者の退院支援・地域ケア体制構築に向けた促進要因を分析した。

3. 研究結果

全国13カ所の地域・施設を訪問し、インタビュー調査を実施した。13カ所の地域・施設には、精神症状面、行動障害面、生活障害面、身体合併症面の支援に関する好事例地域・施設を含んでいる。平成29年度インタビュー調査結果の分析により、以下の点を概ね把握することができた。

- 重度かつ慢性の精神障害者の退院支援に向けて、通常よりもどのような支援が必要なのか、その特徴が把握できた。
- 重度かつ慢性の精神障害者の退院支援と地域ケアを提供する上で、医療機関と地域支援機関とで、どのような連携体制が必要なのか、その特徴が概ね把握できた。
- 重度かつ慢性の精神障害者を地域で支えるためには、どのような医療的ケア、生活支援等が必要なのか、その特徴が概ね把握できた。
- 重度かつ慢性の精神障害者の特性に応じた地域ケアの特徴について、概ね把握することができた。